



家族ぐるみでハイキングを

さわやかな野山を歩き、自然と親しみながら体力づくり——第1回史跡めぐりハイキングが、市教育委員会、市体育協会の主催で、次のように行われます。

▷とき・10月30日(日) 午前9時集合(時間厳守)

なお、雨天のときは11月13日(日)に延期します。

▷集合場所・国府小学校グラウンド
▷申し込み・当日会場で行います。
▷コース・国府小-紀貫之-永源寺-比江塔跡-国分寺-岡豊山-国府小(所要時間は約5時間)
▷講師・利岡富次先生 北岡 博先生
▷弁当は各自持参してください。また、ハイキング中のけがについては応急処置のみで、あとの責任については負いませんので、十分に注意してください。なお、当日は国府小学校グラウンドが駐車場となります。

あなたもさわやかな汗を流してみませんか?!

【市民体育館】

10月は
県・市民税(3期分)
国保税(2期分)
の納付月です

「防犯は誰でも知っている」 「忘れてる」

犯罪のない明るい地域づくりを目指して十月二十七日から十一月二日まで、「侵入盗」と「自動車盗」の防止を重点目標として、全国一斉に防犯運動を実施します。

この機会にお宅の、そして地域の防犯体制について考えてみて下さい。

「お出かけはひと声かけてカギかけて」
このように、侵入盗のうち六割が鍵をかけたままのドアや窓から入ってくるという、金品を盗んでいきます。

お宅の戸締りは大丈夫でしょうか。鍵かけの励行は、あなたの財産を盗難から守ります。

「カギしている? あなたの愛車」

防犯フィルムを無料貸出し

地域防犯活動の一環として、県警本部防犯少年課では、16リフィルムを各学校や一般のみなさんに無料で貸出しています。

貸出しを希望する人は、南国警察署防犯係までご相談ください。

▽「ゆがんだ青春」 煙の中の青春
▽「ひまわりのお手柄」 子豚のうぐいすさんのお手柄
▽「冒険」 ほか、青少年非行防止用、一般防犯用、マンガなどのフィルム五十数巻を用意しています。

【南国地区防犯協議会】
【南国警察署】

舟入川の改修工事

10月20日頃から断水して

市の中心部を流れる舟入川を整備して用排水路の改良と街の美化を——山田堰井筋土地改良区では、組合員の要望に基づいて山田堰および関係井筋の用排水路の改修工事を、昭和四十二年度から県管改良事業として進めています。

今年も舟入井筋について、後免町中町(元映劇場)の五十一年度工事終点から上野田(大將

身体障害者手帳の返還を

身体障害者手帳(赤色)を持つている方で、現在までに死亡され、その後手帳を返還されていない方が多数あると思われるので、

【福祉事務所社会係】

10月27日～11月2日 全国防犯運動を実施

仕事(下ロボー)をはじめるとき、私はまず、呼び鈴を押し家人が留守かどうか確かめます。

次に、留守とわかったら、その家の周りをぐるりと見てまわります。

「あるトロボーの ささやき」
このように、侵入盗のうち六割が鍵をかけたままのドアや窓から入ってくるという、金品を盗んでいきます。

お宅の戸締りは大丈夫でしょうか。鍵かけの励行は、あなたの財産を盗難から守ります。

「カギしている? あなたの愛車」

11月27日—12月4日

第17回南国市展

あなたの出品を
お待ちしております

- 〈一般の部〉
- ▽出品部門・洋画「日本画」「彫塑工芸」「漫画」「書道」「商業美術」
 - ▽出品資格・南国市に関係のある高校生以上の人
 - ▽搬入日・十一月二十三日(水) 午前九時から午後五時まで
 - ▽搬入場所・市民体育館
 - ▽出品は一人一部門五点以内、出品手数料は一点につき二百円。

- 〈児童・生徒の部〉
- ▽出品部門・図画(絵画、版画、デザイン)「工作(工作、彫塑、工芸、その他立体作品)」「習字(毛筆、条中、硬筆、ペン字)」「写真」
 - ▽出品資格・市内に住んでいる幼稚・保育園児、児童、生徒
 - ▽搬入日・十一月八日(火)
 - ▽搬入場所・大篠公民館ホール
 - ▽出品手数料は無料
 - ▽出品規定は両部ともほぼ昨年どおりです。なお、くわしいことのおたずねは教育委員会社会教育課までどうぞ。

【社会教育課】

若い仲間を募集

大篠地区青年団

大篠地区青年団は、市内で最も活動が活発な青年団でしたが、ここ四年間ほど解体状態となっていました。

このほど有志の青年が集まって再発足しましたが、団運営をする若い仲間が少なく、まだまだ前途がけわしい現状です。

このようなことから団員を募集しています。若い仲間、あなたも参加して未来の大篠地区青年団を築いていこうではありませんか。

▽連絡・問合せは
川久保智彦(伊達野) ☎③②④
11 橋田和枝(西邊) ☎④③③①
50 武市一(伊達野) ☎③③③④
43(以上勤務先)。夜間は☎③③④④④(川久保)まで。

市展の歩み

〈1〉

南国市展も今年で第十七回目を迎えます。

市展創設の一人として、ここに創設時代を振り返ると同時にその歩みをたどってみたいと思います。

草創時代は何事でも苦難の道でありましたが、市展についても同様でした。南国市は文化の香り高い田園都市として発足しましたが、市自体が草創時代であり財政的にも苦痛の時、世相も教育界の勤務評定、学力テスト問題と大揺れの暗い時代でした。

た。当時児童生徒の美術教育は、南国市がその歴史と伝統(鉦南芸能部)を受け継ぎ美術教育振興会が中心となり、県下のトップを切っけて活躍していました。従って市展創設についても、これらに属する人々のなかから声が出はじめ、五里霧中のなかでその準備を始めました。当時、須崎、中村、土佐清水、安芸の各市はすでに発足していました。

まず、市展といえば、市長はもちろん議員の人たちにも理解をしていただかねばならないことか

ら、南国市美術研究所跡に南国市展準備委員会の看板を掲げ、洋画、日本画、写真など各部門の人々を挙げて協力を願ひ、たびたび会合も開きついに市当局、市教委との会合を開くまでに成熟つて来ました。ただし、話はそのなりに簡単にはかどりませんでした。市長、議員に理解があったかどうかは別として、それに伴う予算が第一問題であったでしょう。

それは市制発足当時の昭和三十四年から三十五年にかけての頃だっただけで、でもたびたびの会合の結果、やっと三十六年度開催というところまでこぎ付け一安心したことでした。しかしながら、予算、会場、出品規定、運営、労

力、設備など第一の難関が大きな壁として横たわっていました。予算は微々たるもので節立を二十くらい作る程度で、その節立も縦横自由に組み立てる形式(大阪泉大津市)を参考に設計し、安価にするため高ヶ池中学校に依頼して完成しました。その他の経費については、みずから業者の寄付に頼り、努力はすべて無償の手弁当でした。

土佐の古部、田園文化都市として、また県下第一の都市としての面目としては惜けない状態でしたが、当時の市財政、文化に対する認識状態からは致し方もなかつたと思います。当時、大手業者を訪ね市展への寄付をお願いした時

「何の支店ができませんぞ。うちに関係のないものには一切寄付はしません」と剣もほろほろに思わず苦笑もし悲観もしたことでした。

会場については、もちろん市としての施設もないので、後免野田小学校の講堂と教室二つを借りて事足すことにしました。

山崎 次
(市文化推進協議会長)

第十七回を迎えた「南国市展」は、十一月二十七日から市民体育館が開かれます。

市展創設の一人として活躍されてきた山崎次氏の「市展の歩み」を三回にわたり掲載します。